



安全指導	鈴木	27	㊸	廊下歩行や遊具・教具の適切な使い方、熱中症予防、不審者対応など生活安全に関する指導を適切に行っている。	42	58	0	0	342	3.4	27	73	0	0	300	3	▲0.42	・赤いコーン等に歩くのを促すイラストや文字をラミネートして、廊下や踊り場に置いておき、走らないように啓発していきたいと思う。
		28	㊸	避難訓練、防災訓練など防災に関する指導を適切に行っている。	75	25	0	0	375	3.8	64	36	0	0	364	3.6	▲0.09	
体力づくり	渡邊	29		ITスタジアムやマラソン等、体力づくりに継続して取り組もうと努めている。	30	40	30	0	300	3	70	20	10	0	360	3.6	0.6	・ITスタジアムの登録の期日が迫っているため、計画的に実施をし、登録を行う。 ・なわとび大会に向けての練習やマラソンタイムなどを通じて、体力づくりに励む。
		30	㊸	中休みや昼休みには、運動場に出て友達と元気に遊ぶことができている。	67	33	0	0	367	3.7	73	27	0	0	373	3.7	0.06	
学校保健・健康教育	大判	31	㊸ ㊸	「早寝・早起き・朝ご飯」など健康的な生活習慣・リズムが定着するよう啓発や指導を身に付けている。	73	27	0	0	373	3.7	45	55	0	0	345	3.5	▲0.28	・31・32の項目ともに一学期よりB評価が増加した。感染症が流行する時期であることや、中だるみの時期であることを加味し、ほけん日より研修を通しての呼びかけが必要であったと考える。 ・3学期には、冬休みの生活を振り返ってもらえるような配布物や掲示物の作成に努めたい。 ・保健指導の中にプライベートゾーンやジェンダーについての性教育も取り入れ、心の安全も確保できるようにしたい。
		32		児童が安全に気を付けて生活できるよう、学校内外の安全指導を適切に行っている。	75	25	0	0	375	3.8	55	45	0	0	355	3.6	▲0.2	
特別活動	廣田	33		学級活動（話し合い活動）の充実を努めている。	46	54	0	0	346	3.5	30	70	0	0	330	3.3	▲0.16	・特別活動だけではなく、授業や普段の友達との会話の中で、思い伝えることの大切さを学んでいくことが大切だと考える。 ・2学期は、朗読集会など他学年との交流を通して、新たな考えに出会える機会を多く確保することができた。普段の縦割り清掃の時間だけではなく、行事を通して他学年との考えの交流を大切にしたい。
		34		委員会活動、係活動を通して、児童に自主的・実践的な態度が育っている。	58	42	0	0	358	3.6	55	45	0	0	355	3.6	▲0.03	
		35		キャリア教育の視点に立った教育活動を実践している。	33	67	0	0	333	3.3	27	64	9	0	318	3.2	▲0.15	
情報教育・情報管理	高橋	36		情報モラルに関する指導を発達段階に応じて行っている。	40	60	0	0	340	3.4	10	80	10	0	300	3	▲0.4	・情報モラルに関する指導を含め、児童によるクロームブックの正しい使い方について再度確認を行う。 ・プログラミング教育年間指導計画を再度確認するとともに、教職員で来年度の指導計画の内容を更新したい。
		37		プログラミング教育年間指導計画で示された機器の基本的な操作ができるようになっている。（1学期：全学年の目標 2学期：該当学年の目標）	30	70	0	0	330	3.3	30	60	10	0	320	3.2	▲0.1	
		38		タブレット、書画カメラ、大型提示装置などICT機器の効果的な活用に努めている。	67	33	0	0	367	3.7	70	30	0	0	370	3.7	0.03	
		39		校務支援システム・ミライムを積極的に活用し、校務の情報化に取り組んでいる。	75	25	0	0	375	3.8	64	36	0	0	364	3.6	▲0.11	
組織・運営・教職員	教頭	40		諸行事の計画・実施・運営は適切である。	42	50	8	0	334	3.3	45	55	0	0	345	3.5	0.11	・今年度、新しく増えた行事もあるが、負担になっていないかどうか話し合う場もあったら良かったと考える。 ・本校は校務分掌にどうしても偏りがあるので、助け合いの精神で各々ができることを進んでいきたい。
		41		自分の校務分掌を果たし、教職員組織がよく機能するよう努めている。	58	42	0	0	358	3.6	64	36	0	0	364	3.6	0.06	
		42		報告、連絡、相談を確実に、教育公務員としての適正な服務に努めている。	75	25	0	0	375	3.8	73	27	0	0	373	3.7	▲0.02	
		43		業務改善を意識し、超過勤務になりすぎないように仕事の効率化を図っている。	42	58	0	0	342	3.4	55	36	9	0	364	3.6	0.22	
施設・設備	教頭	44		教科等の指導に必要な設備・備品等の管理・保管・整理は適切である。	33	59	8	0	325	3.3	45	55	0	0	345	3.5	0.2	・日直の施錠や個人情報の保管など、危機管理を持つことが重要である。 ・廊下や校舎外の環境整備を、SSSや校務員がよくしてくださっている。先生方も教室の整備をよくしてくださっている。 ・保護者から徴収して買う教材は、吟味して必要最低限のものとするのが望ましい。
		45		校地・建物・施設・設備等の点検整備は適切である。	58	42	0	0	358	3.6	36	64	0	0	336	3.4	▲0.22	
		46		危機管理マニュアルを活用し、安全対策に努めている。	42	58	0	0	342	3.4	18	82	0	0	318	3.2	▲0.24	
		47		教育の場にふさわしいように教室等の環境を整えている。	58	42	0	0	358	3.6	64	36	0	0	364	3.6	0.06	
		48		個人情報の管理や金銭の管理、施錠等を適切に行っている。	67	33	0	0	367	3.7	36	64	0	0	336	3.4	▲0.31	
保護者・地域との連携	大西	49		電話や家庭訪問、連絡カード（ノート）など保護者との連携を密にし、信頼関係づくりに努めている。	45	55	0	0	345	3.5	45	55	0	0	345	3.5	0	・ゲストティーチャーに来ていただく活動を日常の授業に取り入れたり、地域行事やPTA活動に積極的に参加したりして更に連携を深めていく。
		50	㊸	コミュニティ・スクールであることを意識して、連携が進むように自らが受容的・積極的な対応を行い、保護者等の人材開発と活用による、地域を巻き込む教育実践に努めている。	67	33	0	0	367	3.7	64	36	0	0	364	3.6	▲0.03	
		51	㊸	「学校便り」や「学級便り」等を活用し、学校の方針や活動を保護者や地域の方に理解してもらうよう努力している。	50	50	0	0	350	3.5	64	36	0	0	364	3.6	0.14	
その他																		

※ 保・児の数字は、保護者アンケート、児童アンケートでも行った項目を示す。